

大垣市奥の細道むすびの地記念館
学芸事業報告書

令和5年度

大垣市教育委員会

目 次

1	展示活動	1
(1)	常設展示	1
(2)	企画展示・収蔵資料展示	2
①	第35回企画展 めざせ！！芭蕉 ～中興俳諧の時代～	2
②	第36回企画展 飯沼慾齋Iinumaえから牧野富太郎Makinoへ ～植物へのまなざし～	4
③	第37回企画展 月を愛でる俳人たち	6
2	教育・普及活動	8
(1)	一般向けの活動	8
①	企画展関連講座	8
②	おおがき芭蕉大学	8
③	おおがき先賢大学	8
④	総合監修者講演会	8
⑤	ギャラリートーク	9
⑥	その他	10
(2)	子ども向け活動・学校との連携活動	11
(3)	博物館実習	13
(4)	講師派遣	14
3	資料の収集活動	15
(1)	寄附資料	16
(2)	購入資料	17
(3)	預託資料	17
(4)	資料補修	17

1 展示活動

(1) 常設展示

江戸時代の大垣は、城下町・宿場町・港町という3つの要素をそなえており、東西交通の要所、また、東西文化の結節点として、経済・文化が大きく発展した地であった。経済力・文化力の高さは、俳人松尾芭蕉が『奥の細道』の旅を大垣で終えたことや、江戸時代以降に大垣からさまざまな分野の先賢が輩出したこととも深いつながりがある。

常設展示では、大垣の経済や文化と関わりが深い松尾芭蕉の『奥の細道』と、大垣ゆかりの偉人である先賢について紹介している。

① 芭蕉館

芭蕉館では、松尾芭蕉の『奥の細道』について、ゆかりの資料や映像を交えながら紹介している。「月日は百代の過客にして」で始まる発端の場面から、旅のむすびの地大垣までの場面を、日光路・奥州路・出羽路・北陸路の4つの旅路に分けて紹介し、『奥の細道』全体を深く味わえる展示になっている。

館内の各所には、『奥の細道』の代表的な場面を再現したジオラマを設置しているほか、『奥の細道』の和装本や旅衣装など手で触れるレプリカも展示している。

また、芭蕉の人柄についてもパネルで紹介し、“俳人芭蕉”だけでなく、“人間芭蕉”の魅力にも触れることができる。

② 先賢館

先賢館では、江戸時代後期から幕末・維新时期にかけて活躍した大垣ゆかりの先賢5人を紹介している。蘭方医の江馬蘭斎、植物学者の飯沼慾斎、女流漢詩人の江馬細香、漢詩人の梁川星巖、大垣藩重臣で文人の小原鉄心について、ゆかりの資料と映像を通じて、その生涯と偉業を紹介する。

また、先賢各人の交遊関係についても紹介している。大垣の先賢が日本史上の著名な人物たちと幅広いつながりがあったことを示す。

(2) 企画展示

松尾芭蕉・『奥の細道』と大垣の先賢を紹介する企画展を、春・夏・秋の年3回開催している。春・秋は松尾芭蕉や『奥の細道』関連の企画展、夏は大垣の先賢関連の企画展を開催している。

① 第35回企画展 めざせ！！芭蕉 ～中興俳諧の時代～

1) 内 容

17世紀半ばから18世紀初めにかけて、農村の生産力向上と都市の発展は、全国的な経済活動の活発化をもたらす。経済的な豊かさは、社会を成熟させ、学問・文化の発展を促した。そのなかで、俳諧も多くの人々に親しまれ、多様な俳風が広まることとなる。

宝暦年間（1751～1764）の前後になると、儒学をはじめ古典回帰を唱える他の学問の影響もあり、芭蕉の俳風に帰ろうとする蕉風復興運動が起こり始める。蕪村らに代表されるこの時代の俳諧は、「中興俳諧」とも称され、芭蕉の顕彰をとめないながら全国的に展開していく。

本企画展では、芭蕉没後から蕪村らによる蕉風復興運動の時代までの俳諧について、ゆかりの俳人たちの作品や資料を通して紹介した。

2) 会 期 令和5年3月25日（土）～令和5年5月14日（日）

3) 会 場 1階企画展示室

4) 主 催 大垣市・大垣市教育委員会

5) 入 館 者 数 3,607人

6) 出 品 点 数 17点（パネル展示は除く）

7) 主な展示資料

- ・芭蕉筆「盃に」句画賛（個人蔵）
- ・其角筆「忠度と」句文懐紙（当館蔵）
- ・淡々筆「鳥を釣る」句画賛（当館蔵）
- ・蕪村筆「長旅や」句画賛（当館蔵）
- ・蕪村筆「けさ見れば」句画賛（当館蔵）
- ・樗良筆「あかるさや」句画賛（当館蔵）
- ・千溪画・暁台賛「鶏の」句画賛（当館蔵） ほか

8) 関 連 事 業 企画展関連講座（8頁に掲載）

ギャラリートーク（9頁に掲載）

9) 印 刷 物 ポスター・チラシ・図録（カラー32頁）

奥の細道むすびの地記念館 第35回企画展

めざせ!! 芭蕉 ~中興俳諧の時代~

芭蕉 夢太 芭蕉 士朗 芭蕉 蘭道 芭蕉 解村

企画展関連講座
(記念館 多目的室1)

江戸中期における
東海の俳諧について
~蕪村と芭蕉の
交流をもとに~

4/16(日) 14:00~15:30
講師: 寺島 徹 (皇学館大学文学部)

受講料無料 定員70名
要予約申込 3月15日(土)まで

ギャラリーーツ
(学芸員による企画展示解説)

3/26(日)・4/30(日)
5/7(日)・5/14(日)
いずれも14:00~ 30分程度

参加費無料 (ただし入場料は必要)

令和5年 3/25(土) ~ 5/14(日)
開催時間 9:00~17:00

とこ 大垣市奥の細道むすびの地記念館
1階 企画展示室

大垣市奥の細道むすびの地記念館
〒503-0923 岐阜県大垣市船町2丁目26番地1 TEL 0584-84-8430
主催: 大垣市・大垣市教育委員会
問い合わせ先: 文化振興課 〒503-8601 岐阜県大垣市丸の内2丁目29番地
TEL 0584-47-9067(直通) FAX 0584-81-0715 <https://www.city.ogaki.jp/>
奥の細道むすびの地記念館ホームページアドレス <http://www.basho-ogaki.jp/>
■新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、必要に応じて変更となる場合があります。
■奥の細道むすびの地記念館ホームページ上で最新の開催状況をご確認の上、お出かけください。

企画費	企画費	企画費
一般200円 団体500円 (18歳未満は無料)	無料	無料

施設案内
館内施設: 企画展、常設展、展示、交流館
休 日: 休 日
休 日: 休 日
休 日: 休 日

記念館HP
QRコード

チラシ (表)

十七世紀半ばから十八世紀初めにかけて
農村の生産力向上と都市の発展は
全国的な経済活動の活性化をもたらします。
経済的な豊かさは、社会意識と
学問文化の発展を促しました。
そのなかで俳諧も多くの人々を親しまれ
多様な俳風が広まることとなります。
守貞年間(一七五二~一七六四)の前後になると
俳諧をはじめ古典回帰を唱え、
他の学問の影響もあり
芭蕉の俳諧に傾こうとする
蕉復復興運動が起こります。
蕉行に代表されるこの時代の俳諧は
「中興俳諧」とも呼ばれ
芭蕉の脚跡をまもるなかから
全体的に展開していきます。
第三十五企画展では
蕉復復興運動の時代までの俳諧について
ゆかりの俳人たちの作品や
資料を通して紹介します。

展示品
芭蕉「芭蕉」(個人蔵)
芭蕉「芭蕉」(個人蔵)
芭蕉「芭蕉」(個人蔵)
芭蕉「芭蕉」(個人蔵)
芭蕉「芭蕉」(個人蔵)
芭蕉「芭蕉」(個人蔵)
芭蕉「芭蕉」(個人蔵)
芭蕉「芭蕉」(個人蔵)
芭蕉「芭蕉」(個人蔵)
芭蕉「芭蕉」(個人蔵)

企画展関連講座
日 程 4月16(日) 14:00~15:30
テ ー マ 江戸中期における東海の俳諧について
~蕪村と芭蕉の交流をもとに~
講 師 寺島 徹 (皇学館大学教授)
場 所 大垣市奥の細道むすびの地記念館
2階 多目的室1 (岐阜県大垣市船町2-26-1)
定員・受講料 70名 無料
申込み方法
申し込み方法
申し込み先

※詳細は奥の細道むすびの地記念館ホームページ等でお知らせします。

奥の細道むすびの地記念館 企画展関連講座
江戸中期における東海の俳諧について
~蕪村と芭蕉の交流をもとに~

参加申込用紙

↑ FAX 0584-81-0715

名 前 _____
住 所 _____
電話・FAX番号 _____

【注意事項】 *申込者の個人情報は、適切に管理し、本事業以外の目的には一切使用しません。 *申込受付の都合上、当日会場にお越しください。 *新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、申し込み状況は変更される場合があります。 *会場整理のため、会場内では携帯電話のご使用はご遠慮ください。

チラシ (裏)

② 第36回企画展 飯沼慾齋Inumaeから牧野富太郎Makinoへ
～植物へのまなざし～

1) 内 容

飯沼慾齋は、大垣で町医者として活躍した後、植物研究に没頭し、『草木図説』を著した人物である。『草木図説』とは、日本の植物に対して初めてリンネによる分類体系を取り入れて分類し、正確な植物図とその特徴に関する記述を掲載した図鑑である。

本企画展では、慾齋が伊吹山などに出向いて採集した植物標本をはじめ、植物の大きさや形、色合いの観察に使用した顕微鏡、解剖図を付し彩色を施した『草木図説』の下書きなどを展示した。また、牧野富太郎が慾齋の住んでいた平林荘を訪れ採集した「トウツバキ」の標本も展示した。

2) 会 期 令和5年7月15日（土）～令和5年8月27日（日）

3) 会 場 第1会場：1階企画展示室
第2会場：大垣市郷土館1階郷土美術室

4) 主 催 大垣市・大垣市教育委員会

5) 入 館 者 数 2,386人

6) 出 品 点 数 第1会場：28点（パネル展示は除く）
第2会場：8点（パネル展示は除く）

7) 主な展示資料

【奥の細道むすびの地記念館展示資料】

- ・飯沼慾齋採集 イズコゴメグサ標本（国立科学博物館蔵）
- ・牧野富太郎採集 トウツバキ標本（東京都立大学牧野標本館蔵）
- ・文久2年6月（推定）2日付飯沼慾齋宛山本榕室書簡（名古屋市東山植物園蔵）
- ・飯沼慾齋使用 カフ型顕微鏡（個人蔵 岐阜市歴史博物館寄託）
- ・森宇多司写『草木図説』後篇木之部（写本）（大垣市立図書館蔵）
- ・飯沼慾齋著『草木図説』草之部稿本（個人蔵 当館預託） ほか

【郷土館展示資料】

- ・「菰野山采薬」扁額（複製）（菰野町立菰野小学校蔵）
- ・飯沼慾齋筆 一行書「尺蠖之屈以欲伸也」
（個人蔵 奥の細道むすびの地記念館預託）
- ・飯沼慾齋筆 鮫図（個人蔵 奥の細道むすびの地記念館預託）
- ・田中芳男・小野職愨増訂 飯沼慾齋著『新訂草木図説』草部
（個人蔵 奥の細道むすびの地記念館預託）
- ・飯沼慾齋筆 七言二句「九々已過符未至」
（奥の細道むすびの地記念館蔵） ほか

8) 関 連 事 業 企画展関連講座（8頁に掲載）
ギャラリートーク（9頁に掲載）
植物観察講座（10頁に掲載）

9) 印 刷 物 ポスター・チラシ・図録（カラー32頁）

③ 第37回企画展 月を愛でる俳人たち

1) 内 容

月見が秋の楽しみとされているように、月は私たちにとって馴染み深い存在である。古来、人々を魅了してきた月は、「雪月花」・「花鳥風月」など四季の風景・自然の美しさを表す言葉に表現されたり、『万葉集』・『古今和歌集』などに所収の和歌に詠まれたりしている。

江戸時代に多くの人々が親しんだ俳諧においても、月は特に秋を代表する景物の一つとして大切にされてきた。そして、芭蕉が「名月に麓の霧や田のくもり」や「名月の花かと思へて棉帛」などと詠んだように、俳人たちは、名所・旧跡を訪れたり、宴席を催したりしながら、月を愛でる句を数多く残している。

本企画展では、古くから人々に親しまれてきた月を愛でる文化について、江戸時代の俳人たちの作品やゆかりの資料を通して紹介した。

2) 会 期 令和5年10月7日（土）～令和5年11月19日（日）

3) 会 場 1階企画展示室

4) 主 催 大垣市・大垣市教育委員会

5) 入 館 者 数 2,742人

6) 出 品 点 数 18点（パネル展示は除く）

7) 主な展示資料

- ・芭蕉筆「三日月や」句短冊（伊賀市蔵）
- ・芭蕉筆「月きよし」句短冊（福井県立美術館蔵）
- ・杉風筆「其影の」句画賛（当館蔵）
- ・木導筆「うら枯の」句画賛（当館蔵）
- ・乙由筆「やがて染る」句画賛（当館蔵）
- ・珈涼筆「名月や」句画賛（当館蔵）
- ・也有筆「刈あとや」句画賛（当館蔵）
- ・士朗筆「春もやゝ」句芭蕉坐像（当館蔵） ほか

8) 関 連 事 業 企画展関連講座（8頁に掲載）

ギャラリートーク（9頁に掲載）

9) 印 刷 物 ポスター・チラシ・図録（カラー32頁）

奥の細道むすびの地記念館 第37回企画展

「清流の国ぶふ」文化祭2024

月を愛でる俳人たち

名月や 揚る 松の梢

又 杉の 本葉は 之の月

芭蕉

杉風

企画展関連講座 (記念館 多目的室1)

芭蕉の「月」と 不足の美 10/22(日) 14:00-15:30
講師:野村 亞住氏(三川大学講師)

受講料無料 定員70名

ギャラリートーク (学芸員による企画展示解説)

10/8(日)・10/29(日)
11/12(日)・11/19(日)
いずれも14:00～30分程度

令和5年 10/7(土)～11/19(日) 開館時間 9:00～17:00

ところ 大垣市奥の細道むすびの地記念館 1階 企画展示室

大垣市奥の細道むすびの地記念館 〒503-0923 岐阜県大垣市船町2丁目2番地1 TEL 0584-84-8430

主催/大垣市・大垣市教育委員会 実行/令和5年 文化祭実行委員会 〒503-8801 岐阜県大垣市丸の内2丁目29番地 TEL 0584-47-6067(直通) FAX 0584-81-0715 https://www.city.ogaki.lg.jp/ 奥の細道むすびの地記念館ホームページアドレス https://www.basho-ogaki.jp/ 奥の細道むすびの地記念館ホームページアドレス 最新の情報をお知らせいたします。

施設案内

団体/個人	料金	備考
一般	300円	
学生	150円	(18歳未満は無料)
団体	要相談	

観覧時間 午前9時～午後8時 午部9時～午後5時

休館日 祭日・年末年始(12月29日～1月3日)

記念館HP

QRコード

チラシ (表)

月日は秋の美しさとされているように、月日は私たちに寄り添って馴染み深い存在です。古来、人々を魅了してきた月は、「雪月花」の花鳥風月など、四季の風景、自然の美しさを表す言葉に表現されたり、「万葉集」や「古今和歌集」などに所収の和歌に詠みこまれてきました。江戸時代に多くの人々が親しんだ俳諧においても、月には特に秋を代表する景物の一つとして大切にされてきました。そして、芭蕉が名月に纏う藤の露や田のくもりや、「名月の花から見へて楢田などと織んだように俳人たちは名所旧跡を訪れたり、宴席を催したりしながら、月を愛でる句を数多く残しています。第三十七回企画展では、古くから人々に親しまれてきた月を愛でる文化について、江戸時代の俳人たちの作品やゆかりの資料を通して紹介します。

特展 東江神楽を詠む芭蕉の歌 (「月」の巻) (企画展) (所要一部加工)

展示品

- 芭蕉集(三日月)句巻(伊賀市蔵)
- 芭蕉集(三日月)句巻(伊賀市蔵)
- 杉風集(月影の句巻(当館蔵))
- 大連集(つらねの句巻(当館蔵))
- 之江集(つらねの句巻(当館蔵))
- 蕉翁集(名月)句巻(当館蔵)
- 芭蕉集(月影)句巻(当館蔵)

企画展関連講座

日 程	10月22日(日) 14:00～15:30
テ マ	芭蕉の「月」と不足の美
講 師	野村 亞住氏 (三川大学講師)
場 所	大垣市奥の細道むすびの地記念館 2階 多目的室1 (岐阜県大垣市船町2-29-1)
定員・受講料	70名 無料
申込み方法	申込用紙に必要事項を記入して、文化祭実行委員会へ電話・FAXまたは、ホームページ(https://www.basho-ogaki.jp/)より
問い合わせ先	TEL 0584-47-6067(直通) FAX 0584-81-0715

※詳細は奥の細道むすびの地記念館ホームページ等でお知らせします。

奥の細道むすびの地記念館 企画展関連講座 芭蕉の「月」と不足の美

参加申込用紙

↑ FAX 0584-81-0715

名前

住所

電話・FAX番号

【注意事項】申込書の個人情報は、講習に専断し、本事業以外での目的には一切使用しません。・申込受付の都合についてはご連絡しません。当日、会場にお越しください。・会場確保のため、お急ぎの申し込みを推奨いたします。

チラシ (裏)

2 教育・普及活動

(1) 一般向けの活動

① 企画展関連講座

月 日	内 容	講 師	参加者
令和5年 4月16日（日）	第35回企画展関連講座 江戸中期における東海の俳諧について ～蕪村と暁台の交流をもとに～	金城学院大学教授 寺島 徹	61人
8月 6日（日）	第36回企画展関連講座 牧野富太郎の人生 ～飯沼慾斎の『草木図説』を学んで～	練馬区立牧野記念庭園学芸員 田中 純子	103人
10月22日（日）	第37回企画展関連講座 芭蕉の「月」と不足の美	玉川大学講師 野村 亜住	72人

② おおがき芭蕉大学

月 日	内 容	講 師	参加者
令和5年 7月 2日（日）	芭蕉の二つの旅 ～故郷と異郷～	国立歴史民俗博物館名誉教授・ 滋賀県立琵琶湖博物館名誉館長 篠原 徹	83人
8月27日（日）	芭蕉の書画 ～書風と俳画～	近畿大学教授 井田 太郎	68人
9月10日（日）	宗因の連歌と俳諧 ～雅のあそび・俗のあそび～	聖心女子大学教授 深沢 了子	63人

③ おおがき先賢大学

月 日	内 容	講 師	参加者
令和5年 12月 3日（日）	最後の太閤藩主夫人・戸田極子、 ブームスに箏を聴かせる ～ウィーンに『六段の調』～	音楽評論家 萩谷 由喜子	72人
令和6年 1月21日（日）	ジオ鉄の先駆者 脇水鉄五郎	東京都立大学非常勤講師 矢島 道子	46人
2月11日（日）	大垣・深造舎における庶民の学び ～久世友輔の動向を中心に～	仁愛大学准教授 高野 秀晴	40人

④ 総合監修者講演会

月 日	内 容	講 師	参加者
令和5年 11月 5日（日）	蕪村の連句はどのような傾向なのか	和洋女子大学教授 佐藤 勝明	42人

⑤ ギャラリートーク

月 日	内 容	講 師	参加者
令和5年 3月26日 (日)	第35回企画展ギャラリートーク	担当学芸員	8人
4月30日 (日)			5人
5月 7日 (日)			11人
5月14日 (日)			5人
7月16日 (日)	第36回企画展ギャラリートーク	担当学芸員	18人
8月 5日 (土)			18人
8月13日 (日)			25人
8月26日 (土)			41人
10月 8日 (日)	第37回企画展ギャラリートーク	担当学芸員	8人
10月29日 (日)			6人
11月12日 (日)			10人
11月19日 (日)			6人

⑥ その他

第36回企画展の開催に合わせて植物観察講座を実施した。

- 1) と き 令和5年7月23日（日）・8月20日（日） ※連続講座
- 2) と ころ 奥の細道むすびの地記念館 2階 多目的室1 など
- 3) 講 座 名 草木に恋する夏休み
～本格的でわかりやすい、植物観察から標本づくりまで～
- 4) 内 容
奥の細道むすびの地記念館周辺を散策して植物を採集し、採集した植物を
観察して標本を作製した。
- 5) 講 師 岐阜大学准教授 須山 知香
- 6) 対 象 小学生（5・6年生）
- 7) 参 加 者 7月23日：15人・8月20日：12人（両日とも保護者を含む）

飯沼慾齋生誕240年記念 奥の細道むすびの地記念館 第36回企画展
飯沼慾齋から牧野富太郎へ ～植物へのまなざし～
Inumae Makino
しよくぶつ かんさつ こうざ

植物観察講座

さんかしゃほしゅう
参加者募集

草木に恋する夏休み ～本格的でわかりやすい、植物観察から標本づくりまで～

みまわ しよくぶつ かんさつ さいしゅう
身の回りの植物を観察・採集して、
ほんかくてき ひょうほん
本格的な標本づくりにチャレンジしてみませんか

講 師 須山 知香 氏(岐阜大学教育学部准教授)

日 時 7月23日(日)、8月20日(日) 13:00～16:00
※連続講座のため両日参加できる方を対象とします。

場 所 大垣市奥の細道むすびの地記念館 2階多目的室1 など
(大垣市船町 2-26-1)
※屋外に出ることがあります。


定 員 20名(先着順)

対 象 小学生(5・6年生)
※保護者同伴可 一緒に作業できます。


受 講 料 無料

申 込 み 7月3日(月)～ ※8:30～
大垣市電子申請サービス(右のQRコード)から


問 合 せ 大垣市教育委員会 文化振興課(☎TEL 47-8067)へ



飯沼慾齋肖像
(早稲田大学図書館蔵)



植物標本



申込QRコード

(2) 子ども向け活動・学校との連携活動

① 大垣市内小学校6年生見学事業

市内小学校全22校のうち19校、1,294人（引率職員を含む）を受け入れた。

令和5年度 大垣市内小学6年生奥の細道むすびの地記念館見学日程

学校名		参加人数（人）				日程		
		児童	引率職員	計	クラス	月日	曜	見学時間
1	西 小学校	90	4	94	3	5月18日	木	10：05～11：50
2	南 小学校	48	4	52	2	5月23日	火	9：00～10：45
3	綾里 小学校	18	1	19	1	5月31日	水	10：05～11：50
4	北 小学校	129	5	134	4	6月1日	木	10：00～11：35 14：00～15：20
5	青墓 小学校	83	3	86	3	6月9日	金	9：00～10：45
6	牧田 小学校	14	1	15	1	6月14日	水	9：50～11：30
7	一之瀬 小学校	4	1	5	1			
8	多良 小学校	7	1	8	1			
9	時 小学校	4	1	5	1			
10	日新 小学校	39	2	41	2	6月16日	金	9：00～10：45
11	墨俣 小学校	44	3	47	2	6月21日	水	10：05～11：50
12	江東 小学校	79	4	83	3	6月26日	月	10：05～11：50
13	赤坂 小学校	79	4	83	3	6月27日	火	10：05～11：50
14	小野 小学校	140	5	145	4	6月28日	水	10：00～11：35 14：00～15：20
15	東 小学校	93	4	97	3	6月29日	木	10：05～11：50
16	荒崎 小学校	37	2	39	1	6月30日	金	10：05～11：50
17	宇留生 小学校	107	4	111	3	9月21日	木	10：00～11：40
18	興文 小学校	73	3	76	3	10月3日	火	9：00～10：45
19	中川 小学校	148	6	154	5	12月1日 12月6日	金 水	14：00～15：20 10：00～11：35
合計		1,236	58	1,294	—			

1) 目 的

芭蕉や俳句に対する興味関心を高めるとともに、郷土や先賢の偉業に対する理解を深め、ふるさとを愛する態度を養う。

2) 学習内容

- ・AVシアターの映像視聴で松尾芭蕉と奥の細道紀行について学ぶ。
- ・芭蕉館・先賢館において、担当者による展示解説などを通して松尾芭蕉や大垣の先賢等について学ぶ。
- ・船町川湊を散策し、名勝「奥の細道の風景地」の景観に触れ、俳句の種を見つける（十六万市民投句に投句する）。

② 出前講座等

依頼に応じて実施した子ども向け活動・学校との連携活動は、以下のとおりである。

月 日	活動内容	備 考
令和5年 9月20日（水）	The Basho Theater 座・芭蕉劇場 ～振り返る 『奥の細道』 芭蕉・ 曾良～ （寸劇）	大垣市立西小学校5年生 出前講座
9月26日（火）	ふるさと大垣のじまんをみつけ よう ～奥の細道むすびの地と大垣城に ついて～	大垣市立安井小学校3年生 出前講座

(3) 博物館実習

2大学、4人を受け入れた。

① 実習概要

日 時	令和4年7月28日（金）～8月1日（火） 8:30～16:30
場 所	7月28日（金） 奥の細道むすびの地記念館 29日（土） 奥の細道むすびの地記念館 30日（日） 奥の細道むすびの地記念館、郷土館 31日（月） 奥の細道むすびの地記念館、郷土館 8月1日（火） 奥の細道むすびの地記念館、郷土館
実習生	滋賀県立大学 人間文化学部 地域文化学科 2名 岐阜女子大学 文化創造学部 文化創造学科 2名

② 実習内容

実習日	実習内容
7月28日 (1日目)	1) 講話「奥の細道むすびの地記念館について」 ・展示室の見学と展示方法について ・収蔵庫の見学と資料管理の方法、留意点について ・歴史資料を扱う際のルールや注意すること 2) 実習「掛軸・卷子・和本の取扱い」 ・掛軸の掛け方・巻き方、卷子の開き方・巻き方、和本の開き方
7月29日 (2日目)	1) 講話「展示解説」 ・展示資料の解説 ・展示の工夫、解説の方法 2) 実習「模擬ギャラリートーク」 ・資料を1点選び解説 3) 実習「地域に残る古文書の現状記録作業」 ・赤坂宿本陣関係文書の現状記録調査カードへの記入 ・写真及びスケッチによる記録 ・中性紙封筒への保存の仕方 ・古文書の読み取り実習（くずし字用例辞典の活用） ・古文書の開き方やたたみ方
7月30日 (3日目)	1) 講話「展示の企画」 ・展示の企画の考え方、手順 2) 実習「展示ケース・展示台等の採寸」 ・展示会場（郷土館1階郷土美術室）の確認 ・展示ケース・展示台等の採寸 3) 実習「展示資料の調査」 ・展示資料の選定・採寸
実習日	実習内容

7月31日 (4日目)	1) 実習「展示資料の調査」 ・展示資料の解説文作成 2) 実習「展示パネルの作製」 ・資料解説のパネル・キャプションの作製
8月1日 (5日目)	1) 実習「展示パネルの作製」 ・資料解説のパネル・キャプションの作製 2) 実習「展示作業」 ・「俳諧からみる植物を取り入れた句」のコーナー展示

(4) 講師派遣

月 日	講座・講演会名	内 容
令和5年 7月5日(水)	大垣市「飛び出す市役所」出前 講座 (青墓地区センター)	奥の細道むすびの地記念館 第36回企画展「飯沼惣斎 “Iinuma” から牧野富太郎 “Makino” へ ～植物へのまな ざし～」の見どころ
9月28日(木)	大垣市「飛び出す市役所」出前 講座 (談風会)	奥の細道むすびの地記念館 第36回企画展「飯沼惣斎 “Iinuma” から牧野富太郎 “Makino” へ ～植物へのまな ざし～」を終えて
12月23日(土)	大垣市「飛び出す市役所」出前 講座 (ふるさとから教育を語る会)	奥の細道むすびの地記念館 第36回企画展「飯沼惣斎 “Iinuma” から牧野富太郎 “Makino” へ ～植物へのまな ざし～」を終えて
令和6年 2月23日(金)	ねんてんの言葉談義 (市立伊丹ミュージアム)	芭蕉を伝える ～学芸員のイチオシ～

3 資料の収集活動

奥の細道むすびの地記念館は大垣の歴史と文化を世界発信するため、次の3分野に関連する資料を積極的に収集し、それらを保管、公開（情報発信）及び専門研究を行うことを基本的な柱とする。

I 芭蕉館に関連する資料の収集について

- i 松尾芭蕉、『奥の細道』、大垣蕉門、岐阜蕉門、全国の元禄期俳人、美濃派道統、近世俳諧史に関連する人物の資料と関連情報を調査・収集し、それらの保管、公開（情報発信）及び専門研究を行う。
- ii 「i」に関連する資料であれば、必要に応じて比較資料や参考資料も収集対象とする。
- iii 貸出用、普及行事用、展示用資料として写本、拓本、写真、刊行物、複製品等の二次資料も収集対象とする。
- iv 特に松尾芭蕉、『奥の細道』、大垣蕉門、岐阜蕉門に関連する資料は網羅的に収集する。

II 先賢館に関連する資料の収集について

- i 江馬蘭斎・飯沼慾斎・江馬細香・梁川星巖・小原鉄心の五先賢に関連する資料及び五先賢に関連する重要人物の資料と関連情報を調査・収集し、それらの保管、公開（情報発信）及び専門研究を行う。
- ii 「i」に関連する資料であれば、必要に応じて比較資料や参考資料も収集対象とする。
- iii 貸出用、普及行事用、展示用資料として写本、拓本、写真、刊行物、複製品等の二次資料も収集対象とする。

III 大垣の歴史と文化を研究するための資料の収集について

- i 大垣の歴史や文化を知る上で、重要と思われる中世から戦前期までの出来事や人物の資料と関連情報を調査・収集し、それらの保管、公開（情報発信）及び専門研究を行う。
- ii 大垣の歴史や文化を知る上で、良好な状態で保管が必要と思われる資料や国・県・市指定の重要文化財等も収集対象とする。

収蔵資料点数

	館蔵資料	預託資料	合計
点数	2,398点	281点	2,679点

※整理中の資料は点数に含まない。

令和5年度の新規収蔵資料及び資料補修は、以下のとおりである。

(1) 寄附資料

資料名	数量	時代
『墨なをし』	1冊	江戸中期
『三千化』天巻	1冊	江戸中期
是什坊筆「おもはくは」句半切	1幅	江戸中期
風廬坊筆「三条法」半切	1幅	江戸中期
『美濃派歳旦帖』（合冊）	1冊	江戸中期
耕月庵筆「天地の」句短冊	1枚	幕末～明治
『古今庵遺稿』	1冊	大正
「文車に」句短冊	1枚	明治以降
『鼈頭奥之細道』上巻	1冊	幕末
『野ざらし紀行抄』	1冊	江戸後期
『奥細道菅菰抄』下巻	1冊	江戸中期
『諏訪史料叢書』第9巻	1冊	昭和
『俳諧七名八躰』（写本）	1冊	江戸中期
『泊船集』上・中巻	2冊	江戸中期
『新類題発句集』春・夏・秋・冬・雑之部	5冊	江戸後期
『類題発句集』春・夏・秋・雑部	4冊	江戸中期
『露川責』（写本）	1冊	江戸中期以降
『東華集』上・中・下巻（写本）	3冊	江戸中期以降
『東華集』上・中巻	2冊	江戸中期
『独ごと』上・下巻（合冊 写本）	1冊	江戸後期
『枇杷園七部集』初編～3編上・下巻、4編上巻、5編下巻	8冊	江戸後期
『笈日記』上・下巻（取合本）	2冊	江戸中期
『花供養』	1冊	江戸後期
『芭蕉・去来・丈草・嵐雪発句集』（写本）	8冊	明治
『鶉衣』前編上・中巻、後編上・中巻、拾遺下巻	5冊	江戸後期
『洛栗津義仲寺蔵芭蕉門人真蹟歌仙二巻・三匹猿歌仙・尾張四歌仙』（写本）	1冊	江戸後期
『二条家中興俳諧諸百韻・御初懐紙』（写本）	1冊	江戸後期
『芭蕉翁終焉記・諸国翁墳記・芭蕉塚手向発句集』（合冊）	1冊	江戸中期以降
『芭蕉句選年考』春上巻（写本）	1冊	江戸後期以降
『二笈集』（写本）	1冊	江戸中期以降
『蟬塚』（写本）	1冊	江戸中期以降
『桜の雪』（写本）	1冊	江戸中期以降
『一幅半』（写本）	1冊	江戸中期以降
『最上川集稿』（写本）	1冊	江戸中期以降

資料名	数量	時代
『吉野人』前・奥巻(写本)	2冊	幕末以降
『日和虹』乾・坤巻(写本)	2冊	幕末以降
『鳳朗居士追善俳諧』(写本)	1冊	幕末以降
『友がきしふ』(写本)	1冊	幕末以降
『なゝふししふ』(写本)	1冊	幕末以降

(2) 購入資料

資料名	数量	時代
『野ざらし紀行翠園抄』	1冊	江戸後期
小原鉄心追爵建議書并ニ関係書類	12点	明治
『湖月抄』	60冊	江戸前期
『諸国歳旦帖』(合冊)	1冊	江戸中期
『おくのほそ道』	1冊	江戸中期
『笈の小文』	1冊	江戸中期
『奥の細道』(写本)	1冊	江戸中期
「日録」(甲斐重恒日記)	1冊	幕末
中西彦左衛門宛小原鉄心書簡	13通	幕末
日比野清蔵宛江馬蘭斎書簡	1通	江戸後期
日比野清蔵宛江馬春齡書簡	1通(封筒入)	江戸後期
日比野松次郎宛江馬春齡書簡	1通(封筒入)	江戸後期
『俳諧百家仙』	1冊	江戸後期
『時雨会』	1冊	江戸後期
『奥細道菅菰抄』上・下巻	2冊	江戸中期

(3) 預託資料

資料名	数量	時代
—	—	—

(4) 資料補修

資料名	数量	時代
尚白・格枝「雨中の吟」両吟歌仙	1幅	江戸中期
芭蕉筆「洒落堂記」懐紙	1幅	江戸中期

大垣市奥の細道むすびの地記念館 学芸事業報告書 令和5年度

発行日 令和6年3月31日

編集・発行 大垣市教育委員会

〒503-8601

岐阜県大垣市丸の内2丁目29番地

TEL:0584-47-8067 (文化振興課 直通) FAX:0584-81-0715